

環 境 係

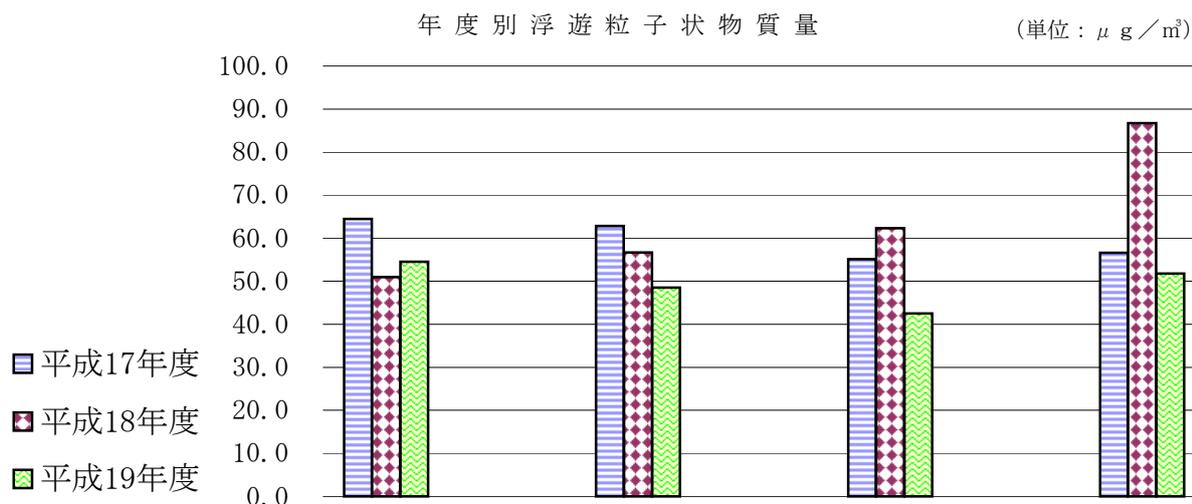
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成20年2月19日から同月22日まで

調査地点：市内4箇所

ア 浮遊粒子状物質量



区分	市役所	水道事務所	市民会館	第二小学校
平成17年度	64.5	62.8	55.1	56.6
平成18年度	51.0	56.7	62.3	86.7
平成19年度	54.5	48.5	42.5	51.8

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度 調査項目	市役所		水道事務所		市民会館		第二小学校	
	平成19年度	前年度	平成19年度	前年度	平成19年度	前年度	平成19年度	前年度
鉛	0.010	0.011	0.010	0.011	0.010	0.010	0.010	0.010
マンガン	0.028	0.026	0.040	0.052	0.031	0.040	0.030	0.040
バナジウム	<0.004	0.003	<0.004	0.003	<0.004	0.004	<0.004	0.004
全クロム	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005	0.005	0.005

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は10万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成20年3月18日

調査事業所数：11事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			平成19年度	前年度	
A	特A	1,000	0.06	0.09	0.8
B	〃	300	0.06	0.07	
C	A	1,500	0.45		
D	〃	300	0.14	0.35	
E	〃	800	0.09	0.43	
F	〃	1,500	0.13	0.44	
G	〃	800	0.06	0.44	
H	特A	1,200	0.06	0.09	
I	A	600	0.12	0.35	
J	〃	300	0.16	0.36	
K	〃	300	0.20		

※ W t %：質量パーセント、検出下限値0.05

※ 事業所CとKは、新規事業所

(3) 二酸化窒素

調査日：平成20年1月31日～同年2月1日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成19年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.021	0.034	0.06
2	武蔵野橋南	0.020	0.043	
3	熊川内出	0.026	0.030	
4	第五ゲート前	0.026	0.040	
5	福生志茂南	0.020	0.027	
6	多摩橋北	0.032	0.025	
7	福生駅西	0.021	0.031	
8	福生加美	0.021	0.028	
9	福生加美平	0.023	0.024	
10	福生市役所前	0.028	0.033	
11	武蔵野台北	0.023	0.025	
12	第二ゲート前	0.024	0.044	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部			2	1		5		8	10
区 北部				1		5		6	10
区 西部			2		2	7		11	12
区 南部			1	1	2	6	1	11	10
多摩北部			2	2	2	7		13	14
多摩中部			2	1	2	6		11	14
多摩西部			1		1	3		5	9
多摩南部			2	2	3	8		15	13
合計		0	12	8	12	47	1	80	92

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

PH(水素イオン濃度) : 環境基準 6.5~8.5 排水基準 5.8~8.6
 BOD(生物化学的酸素要求量) : 環境基準 2 mg/ℓ 排水基準 160 mg/ℓ
 SS(浮遊物質量) : 環境基準 25.0 mg/ℓ 排水基準 200.0 mg/ℓ

ア 多摩川

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成19年度	8.6	7.8	7.7	8.1	7.9	7.8
	平成18年度	8.2	8.5	7.4	7.7	7.5	7.4
	平成17年度	8.6	8.7	8.2	8.6	8.9	8.4
B O D	平成19年度	ND	ND	0.7	ND	0.7	1
	平成18年度	1.2	1.4	1.0	0.9	1.1	1.2
	平成17年度	0.8	0.6	ND	1.1	2.9	1.6
S S	平成19年度	1.0	7.0	105.0	2.0	2.5	15.0
	平成18年度	1.0	2.5	0.5	ND	ND	ND
	平成17年度	2.0	1.5	2.0	ND	0.5	2.0

イ 下の川

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成19年度	7.9	7.8	7.5	7.7	7.6	7.7
	平成18年度	7.5	8.1	7.6	7.3	7.1	7.4
	平成17年度	7.7	8.3	7.4	8.0	8.3	8.2
B O D	平成19年度	ND	0.7	2.3	0.7	0.7	1.2
	平成18年度	1.2	1.4	0.9	1.2	0.9	1.0
	平成17年度	0.9	0.4	ND	0.8	2.4	1.7
S S	平成19年度	ND	18.3	11.0	0.7	0.3	0.7
	平成18年度	ND	3.0	0.3	ND	ND	ND
	平成17年度	0.7	1.7	0.7	ND	1.0	4.0

ウ 都市下水路

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成19年度	7.8	7.7	8.1	7.9	7.6	7.5
	平成18年度	7.6	7.7	7.9	7.6	6.9	7.4
	平成17年度	8.1	8.2	7.6	8.3	8.3	7.8
B O D	平成19年度	ND	0.9	2.4	ND	1.3	1.0
	平成18年度	1.1	1.2	0.8	0.8	0.8	0.9
	平成17年度	0.5	0.5	ND	0.8	2.3	1.4
S S	平成19年度	ND	ND	ND	ND	2.0	ND
	平成18年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	ND	ND	ND	ND	ND	1.0

エ 本町幹線

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成19年度	9.9	7.8	7.8	7.5	8.1	7.9
	平成18年度	9.0	9.0	8.9	7.4	8.6	9.3
	平成17年度	8.9	9.0	8.1	8.6	8.9	8.2
B O D	平成19年度	1.0	ND	1.0	ND	2.1	1.7
	平成18年度	1.8	1.6	2.5	1.1	1.3	1.2
	平成17年度	2.3	0.8	0.5	1.1	3.2	1.8
S S	平成19年度	5.0	ND	74.0	7.0	15.0	1.0
	平成18年度	2.0	1.0	5.0	ND	ND	3.0
	平成17年度	6.0	2.0	1.0	2.0	ND	2.0

- ※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水
- ※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。
- ※ ND：定量下限値未満

(2) 多摩川合同採水

採水年度	平成19年度		前年度	
採水月日	6. 7 (木)	11. 8 (木)	6. 1 (木)	11. 9 (木)
採水時間	午前11時30分		午前11時30分	
流量 m ³ /sec	2.36	5.13	2.66	2.46
気温 °C	24.9	18.5	33.0	23.0
水温 °C	21.5	15.8	22.0	15.8
外観	淡灰黄緑色	中灰茶色	淡暗緑色	淡暗緑色
臭気	微川藻臭	無臭	無臭	淡沼沢臭
透視度	>50	14	>50	>50
PH (水素イオン濃度)	8.7	8.5	8.4	8.5
DO (溶存酸素) mg/l	10.5	11.1	9.7	11.5
BOD (生物学的酸素要求量) mg/l	<0.5	0.7	1.3	0.9
COD (化学的酸素要求量) mg/l	1.7	1.5	3.6	1.7
SS (浮遊物質) mg/l	2	19	2	<1
T-CN (シアン化合物) mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
Pb (鉛) mg/l	<0.001	0.001	0.002	0.004
NH ₄ -N (アンモニア性窒素) mg/l	<0.01	<0.01	<0.10	<0.01
T-N (全窒素) mg/l	0.80	1.19	1.14	1.24
PO ₄ -P (リン酸性リン) mg/l	0.013	0.026	<0.03	<0.03
T-P (全リン) mg/l	0.022	0.036	<0.06	<0.06
MBAS (陰イオン界面活性剤) mg/l	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
ジクロロメタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.002	<0.002
四塩化炭素 mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.002	<0.002
シス-1, 2-ジクロロエチレン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.004	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.1	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン mg/l	<0.001	<0.001	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.001	<0.001
1, 3-ジクロロプロペン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.001	<0.001
チウラム mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.002	<0.002
セレン mg/l	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001
大腸菌群数 MPN/100ml	4900	24000	1700	3300
カドミウム mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
ヒ素 mg/l	<0.001	0.001	<0.001	<0.001
総水銀 mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/l	0.67	1.0	1.25	1.15
環境基準	水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：平成19年8月31日

検査項目 \ 測定地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/ℓ	5.4	5.1	6.6	8.2	4.9	7.8	3.5	7.6	5.4	3.4	10以下
塩素イオン mg/ℓ	7.8	5.8	5.3	9.5	8.3	7.5	7.7	20.6	6.3	4.3	200以下
有機物 (TOCの量) mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.7	<0.5	<0.5	0.7	<0.5	<0.5	10以下
一般細菌個/ml	2	27	1	17	780	94	57	0	2	76	100以下
大腸菌群数	不検出	検出	検出	検出	検出	検出	不検出	不検出	不検出	検出	検出されないこと。
鉄 mg/ℓ	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.05	<0.03	0.20	<0.03	<0.03	<0.03	0.3以下
マンガン mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.044	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
P H	6.6	6.7	6.6	6.5	6.8	6.6	6.3	6.9	6.3	6.6	5.8～8.6
臭気	異常なし	異常でないこと。									
味	異常なし	測定せず	測定せず	測定せず	測定せず	測定せず	異常なし	異常なし	異常なし	測定せず	異常でないこと。
色度	<1	<1	<1	<1	3	<1	1	<1	<1	<1	5度以下
濁度	<1	<1	<1	<1	2	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン mg/ℓ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
テトラクロロエチレン mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン mg/ℓ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.3以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度から過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成19年8月31日

単位：mg/ℓ (PHと水温を除く。)

検査項目 \ 測定地点	A工場		B工場		基準値
	平成19年度	前年度	平成19年度	前年度	
PH (水素イオン濃度)	7.1	7.6	7.7	7.6	5.8～8.6
PH測定時水温	25℃	26℃	25℃	25℃	40℃以下
BOD(生物学的酸素要求量)	4.6	4.3	3.4	2.8	160
COD(化学的酸素要求量)	15.0	9.0	15	12.5	200
SS	12	12	36	130	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.01	<0.02	0.04	<0.07	3
亜鉛含有量	0.04	0.02	0.12	0.15	5
溶解性鉄含有量	<0.2	<0.1	<0.2	0.2	10

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・交通騒音調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成20年 1月10～11日	平成19年 12月25～26日	平成19年 12月5～6日	平成19年 12月17～18日	平成19年 12月10～11日
上り	23,939	11,359	10,258	4,443	7,584
下り	25,933	12,305	10,670	4,483	11,376
合計	49,872	23,664	20,928	8,926	18,960
前年度合計	54,355	23,832	21,138	8,910	21,480

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成20年 1月10～11日	平成19年 12月25～26日	平成19年 12月5～6日	平成19年 12月17～18日	平成19年 12月10～11日	
騒音 (LEQ)	昼間	76	70	69	71	70
	前年度	73	70	73	67	68
	夜間	75	68	65	62	68
	前年度	72	67	70	62	68
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ LEQ＝等価騒音レベル

(2) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	771	552	214	5	99	86
5	662	479	168	15	102	83
6	580	473	90	17	101	83
7	518	392	118	8	100	82
8	599	451	136	12	103	86
9	477	313	152	12	115	84
10	990	815	166	9	102	99
11	827	690	131	6	101	84
12	504	466	33	5	104	87
20年1	994	772	208	14	100	84
2	855	715	135	5	99	86
3	945	716	224	5	100	84
合計	8,722	6,834	1,775	113		
前年度合計	9,232	7,094	1,943	195		
平均	727	570	148	9	102	86

※ dB：デシベル

※ WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	194	129	65	0	80	62
5	157	98	59	0	81	61
6	94	68	25	1	82	60
7	60	29	31	0	82	58
8	135	91	44	0	81	61
9	122	59	63	0	94	63
10	228	165	61	2	80	71
11	180	151	28	1	80	61
12	53	48	5	0	82	62
20年1	199	134	65	0	83	63
2	134	102	40	1	83	63
3	250	158	92	0	81	64
合計	1,806	1,232	578	5		
前年度合計	2,005	1,287	707	8		
平均	151	103	48	0	82	62

※ dB：デシベル

※ WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

(3) 環境騒音調査 市内29地点 (46箇所)

測定日：平成20年3月13日(木)から同月17日(月)まで【昼間】

測定地点			騒音の大きさ (dB)			支配音
No	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成19年度	前年度		
1	準工業	一般地域	47	60	60	一般音
2	準工業	一般地域	48	56	60	〃
3	第1種住居	沿道	73	74	70	自動車音
	第1種低層	後背地	52	51	55	〃
4	近隣商業	沿道	69	75	70	〃
	近隣商業	後背地	59	61	60	〃
5	第1種低層	一般地域	44	52	55	自然音
6	第1種住居	沿道	69	69	70	自動車音
	第1種低層	後背地	49	53	55	〃
7	近隣商業	沿道	77	78	70	〃
	第1種低層	後背地	54	56	55	〃
8	第2種低層	沿道	57	64	60	〃
	第1種低層	後背地	52	56	55	〃
9	第1種中高層	沿道	62	70	65	〃
	第1種低層	後背地	43	52	55	〃
10	第1種低層	後背地	53	51	55	一般音
	第1種中高層	沿道	49	63	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	64	73	70	〃
	第1種低層	後背地	51	57	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	45	51	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	55	62	60	〃
14	近隣商業	一般地域	49	57	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	56	55	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	73	76	70	〃
	第1種低層	後背地	54	58	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	46	53	55	〃
18	近隣商業	沿道	65	68	70	自動車音
	近隣商業	後背地	55	57	60	〃
19	第1種低層	一般地域	45	59	55	〃
20	第2種中高層	沿道	59	68	70	〃
	第1種中高層	後背地	49	55	55	一般音
21	商業	一般地域	55	68	65	自動車音
22A	商業	一般地域	55	57	65	〃
22B	商業	沿道	60	70	70	〃
	第2種低層	後背地	51	57	55	〃
23	第1種中高層	沿道	60	70	60	〃
	第1種低層	後背地	48	51	55	〃
24	準工業	一般地域	44	53	65	一般音
25	近隣商業	沿道	65	68	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	48	44	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	47	54	60	〃
27	工業	沿道	64	70	70	自動車音
	工業	後背地	47	55	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	45	48	60	〃
29	第1種住居	沿道	60	67	70	自動車音
	第1種住居	後背地	49	56	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	20年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	1	3								3	2		9	17
アスベスト相談													0	10
水 質 汚 濁													0	5
土 壌 汚 染													0	0
騒 音・振 動		2	1	1	2		2	5			2		15	20
低 周 波 音													0	0
航空機騒音	5	7	9	4	9	10	13	10	6	19	3	15	110	53
地 盤 沈 下													0	0
悪 臭			1		1		1			1			4	9
雑 草			2		2	1							5	7
そ の 他	3	6	4	6	7	2	8	3	3	2	2	1	47	44
合 計	9	18	17	11	21	13	24	18	9	25	9	16	190	165

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 19年度	前年度	区 分	平成 19年度	前年度
工 場 設 置 認 可	1	1	指 定 作 業 場 設 置 届	0	76
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	9
工 場 変 更 認 可	1	1	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	0
工 場 変 更 認 定	1	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	1	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	0	特 定 施 設 設 置 届	1	2
工 場 廃 止 届	0	1	特 定 施 設 変 更 届	0	1
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	0	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	15	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	27	24
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	0	0			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 19年度	前年度	区 分	平成 19年度	前年度
工 場 認 可 関 係	2	0	苦 情 処 理	274	257
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	151	151
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	0			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 福生環境市民会議等

ア ごみ減量プロジェクト

- 第34回 容器包装プラスチックについて
- 第35回～第36回 どう減らすレジ袋
- 第37回～第38回 コンポストについて
- 第39回 コンポスト実験施設を開けてみての報告
- 第40回～第41回 多摩地域のごみ実態調査の報告について
- 第42回～第44回 エコバックの使用状況調査について

イ 「人と動物の共生」福生市民会議

- 第25回～第29回 犬のドッグランと躰について
- 第30回～第33回 犬スポーツ教室について

ウ 福生エネルギー市民会議

- 第18回 みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成金について他
- 第19回 環境フェスティバルへの出展について
- 第20回 福生エコライトハウス協力者募集について
- 第21回 福生エコライトハウス広報及び募集要項について
- 第22回 福生スクラム・マイナス50%事業委託事業計画について他
- 第23回 『不都合な真実』上映会の可能性について
- 第24回 環境フォーラムについて他

エ 福生地域ネコの会

- 第23回～第36回 地域猫制度の運営について
福生にゃんにゃんフォーラム開催（平成19年9月29日・参加者54人）

オ 湧水探検

- 4月17日 湧水調査に基づき「福生市の湧水保護に関する提言書」を提出
- 第14回 調査地点確認見学（市内8箇所）
- 第15回～第17回 会議（現状について意見交換及び今後の方向性検討）

カ 環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

- 第20号～第22号

(2) 福生市環境審議会

- 第1回 福生市環境基本計画実行計画について（平成19年11月21日）

(3) ふっさ環境フェスティバル（平成19年6月3日）

参加者2,000名

熱気球体験、電気自動車試乗会、デポジット体験、プラバン体験他

(4) 市民環境大学“緑の楽校”全8回

- 第1回 講義「街の緑の役割」など (17人)
- 第2回 緑の見方を学ぶ（公園）—どんぐり公園 (15人)
- 第3回 自然に近い緑に触れる—多摩川中央公園 (14人)
- 第4回 街の緑について学ぶ—神明社、永澤旧住宅街、田村酒造 (10人)
- 第5回 街の中の緑の役割—斜面の緑地、水喰土公園、日光橋公園 (6人)
- 第6回 新住宅地と段丘沿いの緑—下の川緑地せせらぎ遊歩道公園 (6人)
- 第7回 第2回から第6回までの振り返り (8人)
- 第8回 武蔵野の雑木林—文化の森 (9人)

※（ ）内は参加人数

(5) 水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全12回

第1回	水辺の楽校開校式・春を食べよう	(41人、12人、9人)
第2回	環境フェスティバルに参加しよう	(フェスティバルへの参加で、人数把握せず。)
第3回	プールのヤゴ救出大作戦	(50人、36人、9人)
第4回	夏休み源流体験	(31人、0人、12人)
第5回	かっぱまつり	(45人、10人、19人)
第6回	バッタをゲット	台風のため中止
第7回	魚とり	(25人、9人、7人)
第8回	生き物探偵団	雨のため中止
第9回	ネイチャークラフトに挑戦しよう	(21人、6人、9人)
第10回	どんと焼きを見学しよう	(33人、12人、13人)
第11回	手作り凧揚げに挑戦	雪のため中止
第12回	多摩川ウォーキングに参加しよう	(23人、10人、7人)

(「手作り凧揚げに挑戦」に内容を変更)

※ () 内の参加人数は子ども、保護者、ボランティアの順で表示

(6) 水辺の楽校“多摩川の達人になろう講座”全10回

第1回	多摩川とは?～源流から河口まで136kmの概要	(4人)
第2回	多摩川の自然①～水の中の生きもの	(6人)
第3回	多摩川で活動するために～水辺の安全確保	(4人)
第4回	多摩川の水源～水干探訪	(13人)
第5回	多摩川で子どもたちと遊ぼう～多摩川カップまつり	(7人)
第6回	多摩川の自然②～川原の自然観察	(4人)
第7回	多摩川と人のつながり～羽村から福生へ	(6人)
第8回	多摩川の河口～海への入り口	(5人)
第9回	多摩川の自然～鳥たちの生活	(9人)
第10回	多摩川らしさ～あなたが伝えたいこと	(5人)

※ () 内は参加人数

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧 (単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
217	87	48	86	138	85	21
11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
32	40	39	17	99	909	929

開館日数: 131日 (土・日曜及び小・中学校夏休み期間)

(8) 環境学習教員研修

第1回	「今、地球は—地球環境を知る」	10人
第2回	「多摩川—フィールドで遊ぶ・学ぶ」	9人
第3回	「自然の中での遊びから気づく」	7人
第4回	「福生の水と緑を歩く」	5人

(9) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
16匹	25匹	41匹

6 地球温暖化対策

福生スクラム・マイナス 50%事業の取組

市と商工会が事務局となり、地球温暖化対策を進める。

(1) 福生スクラム・マイナス 50%協議会

第4回	エコライトハウスプロジェクトの報告について	(平成19年4月20日)
第5回	一般エコライトハウスについて、委託事業について他	(平成19年8月10日)
第6回	エコライトハウス募集から着工・完成まで他	(平成19年8月27日)
第7回	一般住宅・事業所エコライトハウスについて他	(平成19年11月27日)
第8回	エコライトハウス事業進ちょく状況について	(平成20年3月18日)

(2) 普及啓発等事業の実施について

ア 事業者技術支援セミナー

第1回	「高断熱住宅にリフォームするには」	(4人)
第2回	「新エネ・省エネ機器を設置するには<技術編>」	(24人)

※ () 内は参加人数

イ 省エネアドバイザー養成コース

第1回	「毎日の暮らしで省エネ」	(6人)
第2回	「エコクッキングで省エネ」	(5人)
第3回	「家電製品の賢い使い方」	(7人)
第4回	「ごみを減らして地球温暖化対策に貢献しよう」	(11人)
第5回	「庭から考える省エネ」	(10人)

※ () 内は参加人数

ウ 講演会

「商店街と地球温暖化」(平成20年3月6日) (16人)

講師 小澤祥司氏(環境学習コーディネーター)

エ 福生環境フォーラムー『不都合な真実』上映会

オ 広報誌『福生エコライトハウス』の発行

カ 環境家計簿ソフト開発

キ 効果の測定・評価

ク その他啓発事業

- ・ホームページの作成・更新
- ・エコライトハウス・フォローアップ及び見学会の開催

7 緑化推進事業

(1) 出生記念樹配布(キンモクセイ・ツツジ)

第1回目

実施日 平成19年5月26日(土)

対象者 平成18年9月1日から平成19年2月28日生まれまで

該当者数 255人 配布数 89本 配布率 35%

配布内訳 モクセイ(大) 17本 モクセイ(小) 33本 ツツジ 39本

第2回目

実施日 平成19年11月24日(土)

対象者 平成19年3月1日から同年8月31日生まれまで

該当者数 260人 配布数 92本 配布率 35%

配布内訳 モクセイ(大) 18本 モクセイ(小) 43本 ツツジ 31本

(2) 花の種子配布

苗の種類	配布数(袋)
ひまわり	300
大輪百日草	300
松葉牡丹	400
白花カスミ草	400
金せん花	400
ポピー	400
八重矢車草	400
美女撫子	400
西洋石竹	400
ぼんぼん百日草	400
アスター	400
帝王貝細工	400
あさがお	400
けいとう	400
コスモス	400
ハーブ	400
合計	6,200

(3) 草花の苗配布

苗の種類	配布数(株)
サルビア	16,200
マリーゴールド	18,700
パンジー	14,885
葉ボタン	8,000
ビオラ	14,885
合計	72,670

8 緑化保存事業

(1) 保存樹林地

種別	件数(件)	筆数(筆)	面積(m ²)
宅地介在山林	7	11	6,509.3
一般山林	5	10	3,386.0
合計	12	21	9,895.3

(2) 保存樹木

件数	本数
47件	214本

(3) 保存生垣

件数	箇所数	延長
179件	181箇所	3,879m

(4) アメリカシロヒトリ防除事業

- ・実施期間 平成19年5月から同年9月まで
- ・箇所数 3箇所
- ・本数 62本